

# ま え が き

東京都では、福祉・保健・医療施策推進の基礎資料とするため、毎年「東京都福祉保健基礎調査」を実施しています。

平成21年度は、初めて「都民の健康と医療に関する実態と意識」をテーマに調査を実施しました。

保健医療を取り巻く状況は、がんや糖尿病などの生活習慣病が増加するとともに、医療費も年々増加するなど、常に変化しています。

こうした状況の中、都民が健康に暮らし、より安心して医療を受けられる社会を実現するため、糖尿病・メタボリックシンドロームの予防のための重点的な取組の実施、予防から高度医療までがん対策の総合的な推進、わかりやすく切れ目のない医療連携体制の整備など、様々な保健医療サービスを提供していく必要があります。

このためには、まず、都民の健康・医療に関する実態と意識を正確に把握することが必要です。

本調査では、都民の健康、食生活、健診・がん検診の状況や、がん医療、在宅医療に関する意識等について調査し、できる限り健康と医療に関する実態が明らかになるよう努めました。

この報告書が今後の福祉・保健医療を推進するために、関係機関及び関係者の方々に広く御活用いただければ幸いです。

本調査の実施に当たりましては、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授 河原 和夫氏、横浜市立大学医学部社会予防医学教室教授 水嶋 春朔氏に調査の設計、結果の分析等の御指導をいただきました。深く感謝申し上げます。

最後に調査に御協力いただきました都民の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成22年10月

東京都福祉保健局



# 目 次

## まえがき

第1 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査の基準日	3
4 調査事項	3
5 調査方法	3
6 調査の機構	3
7 根拠規程	3
8 調査検討会の設置	4
9 集計の対象	4
10 調査報告書の構成	4
11 利用上の注意	5
12 結果の公表	5
第2 調査結果の概要	7
序	9
1 東京都の世帯と人口	9
2 世帯と人口の推移	10
3 平均世帯人員の推移	11
4 出生・婚姻・死亡の推移（東京都、全国）	11
(1) 出生の推移	11
(2) 婚姻の推移(男、女)	12
(3) 死亡者数（人口10万人当たり）の推移	13
5 医療の状況	14
(1) 受療状況	14
(2) 入院の状況	14
(3) 医療施設の状況	15
(4) 救急活動	16
第1部 世帯と世帯員の状況	17
第1章 集計対象者の性・年齢階級及び地域	17
1 集計対象者の性・年齢階級	17
2 地域	18

第2章 世帯の状況	19
1 世帯人員・世帯構成	19
(1) 世帯人員	19
(2) 世帯構成(世代別)	19
(3) 単独世帯 - 性・年齢階級別	20
(4) 高齢・母子・父子世帯の状況	20
2 住居の状況	21
(1) 住居の種類	21
(2) 住居の種類 - 所有状況別	21
3 就業の状況	22
(1) 世帯における就業者の有無	22
(2) 夫婦の就業の状況 - 夫、妻の年齢階級別	22
4 経済の状況	23
(1) 主な世帯収入の種類	23
(2) 世帯の年間収入	23
(3) 生活保護受給世帯の状況	24
5 子供のいる世帯の状況	25
(1) 18歳未満の子供のいる世帯	25
(2) 6歳未満の子供のいる世帯	25
6 高齢者のいる世帯の状況	26
(1) 65歳以上の高齢者のいる世帯	26
(2) 高齢者世帯の主な世帯収入の種類 - 世帯類型(65歳以上の高齢者がいる世帯)別	27
(3) 高齢者世帯の年間収入 - 世帯類型(65歳以上の高齢者がいる世帯)別	27
(4) 年金・恩給受給の有無 - 世帯類型(65歳以上の高齢者がいる世帯)別	28
第3章 世帯員の状況	29
1 配偶者の状況 - 性・年齢階級別	29
2 教育・保育の状況[複数回答] - 性別	30
3 手帳所持の状況(身体障害者・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳)	31
4 就業の状況	32
(1) 就業状況 - 性・年齢階級別	32
(2) 世帯員の勤め先での呼称 - 性・年齢階級別	33
(3) 世帯員の従業する企業等の従業者数 - 性・年齢階級別	34
第4章 世帯における医療機関の受診状況	35
1 医療費助成の状況[複数回答]	35
(1) 医療費助成の状況[複数回答] - 性・年齢階級別	36
(2) 医療費助成の状況[複数回答] - 身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持状況別	37

2	医療保険の種類	38
(1)	医療保険の種類 - 地域別	38
(2)	医療保険の種類 - 性・年齢階級別	39
(3)	医療保険の加入状況	40
(4)	医療保険の種類の変更	40
3	最初にかかる医療機関の種類とかかりつけ医の有無	41
(1)	最初にかかる医療機関の種類 - 性・年齢階級別	42
(2)	かかりつけ医の有無 - 性・年齢階級別	43
4	かかりつけ歯科医の有無	44
(1)	かかりつけ歯科医の有無 - 性・年齢階級別	45
5	病院・診療所の受診の有無と受診した医療機関数 - 性・年齢階級別	46
6	通院頻度 - 性・年齢階級別	47
7	入院の有無と入院日数 - 性・年齢階級別	48
8	休日・夜間の医療機関の受診の有無と受診の際の交通手段[複数回答]	49
9	休日・夜間の医療機関の受診理由[複数回答]	49
10	緊急時の対応[複数回答]	50
(1)	緊急時の対応[複数回答] - 世帯類型(18歳未満の子供がいる世帯、65歳以上の高齢者がいる世帯)別	51

## 第2部 健康と医療に関する実態と意識

第1章	健康づくりの状況	55
1	健康状態の評価	55
(1)	健康状態の評価 - 性・年齢階級別	56
(2)	健康状態の評価 - 悩みやストレスの有無、こころのゆとり、余暇の充実度別	57
2	1日の食事の栄養バランス	58
(1)	1日の食事の栄養バランス - 性・年齢階級別	59
(2)	1日の食事の栄養バランス - 世帯類型(18歳未満の子供の有無、高齢者・母子・父子等) 配偶者の有無別	60
(3)	1日の食事の栄養バランス - 健康・食生活改善意欲、悩みやストレスの有無別	61
3	朝食の有無	62
(1)	朝食の有無 - 性・年齢階級別	63
(2)	朝食の有無 - 健康・食生活改善意欲、悩みやストレスの有無、睡眠時間の充足別	64
4	健康や食生活の改善意欲	65
(1)	健康や食生活の改善意欲 - 性・年齢階級別	66
(2)	健康や食生活の改善意欲 - 悩みやストレスの有無、こころのゆとり、余暇の充実度別	67
5	飲酒の有無、頻度	68
(1)	飲酒の有無、頻度 - 性・年齢階級別	69

(2) 飲酒の有無、頻度 - 仕事の種類別	70
6 1日の平均飲酒量	71
(1) 1日の平均飲酒量 - 性・年齢階級別	72
7 飲酒の習慣の有無	73
(1) 飲酒の習慣の有無 - 性・年齢階級別	74
(2) 飲酒の習慣の有無 - 仕事の種類別	75
8 喫煙の有無	76
(1) 喫煙の有無 - 性・年齢階級別	77
(2) 喫煙の有無 - 仕事の種類別	78
9 喫煙の頻度	79
(1) 喫煙の頻度 - 性・年齢階級別	80
10 1日の喫煙本数と喫煙年数	81
(1) 1日の喫煙本数 - 性・年齢階級別	82
(2) 喫煙年数 - 性・年齢階級別	83
11 禁煙意欲の有無	84
(1) 禁煙意欲の有無 - 性・年齢階級別	85
(2) 禁煙意欲の有無 - 喫煙頻度別	86
(3) 禁煙意欲の有無 - 健康・食生活改善意欲別	87
12 生活活動・運動の推奨内容の実行度	88
(1) 生活活動の推奨内容の実行度 - 性・年齢階級別	89
(2) 運動の推奨内容の実行度 - 性・年齢階級別	90
13 歯の健康づくりの状況[複数回答]	91
(1) 歯の健康づくりの状況[複数回答] - 性・年齢階級別	92
(2) 歯の健康づくりの状況[複数回答] - かかりつけ歯科医の有無別	93
第2章 健康食品の使用状況	95
1 健康食品のイメージ[複数回答]	95
(1) 健康食品のイメージ[複数回答] - 性・年齢階級別	96
2 健康食品の使用実態と使用のきっかけ	97
(1) 健康食品の使用実態 - 性・年齢階級別	98
(2) 健康食品の使用実態 - 健康・食生活改善意欲別	99
(3) 健康食品の使用のきっかけ - 性・年齢階級別	100
3 健康食品の購入先[複数回答]	101
4 健康食品の使用に関する医師への相談	102
5 健康食品の使用による体の不調の有無とその症状[複数回答]、医療機関の受診の有無	103
第3章 悩みやストレスの状況	105
1 悩みやストレスの状況	105
(1) 悩みやストレスの状況 - 性・年齢階級別	106

(2)	悩みやストレスの状況 - 仕事の種類別	107
(3)	悩みやストレスの状況 - 飲酒の有無、1日の平均飲酒量別	108
(4)	悩みやストレスの状況 - 喫煙の有無別	109
2	悩みやストレスの原因[複数回答]	110
(1)	悩みやストレスの原因[複数回答] - 性・年齢階級別	111
(2)	悩みやストレスの原因[複数回答] - 就業状況別	112
(3)	悩みやストレスの原因[複数回答] - 世帯年収別	113
3	悩みやストレスの相談先[複数回答]	114
(1)	悩みやストレスの相談先[複数回答] - 性・年齢階級別	115
(2)	悩みやストレスの相談先[複数回答] - 仕事の種類別	116
4	睡眠時間の充足、こころのゆとり、余暇の充実度	117
(1)	睡眠時間の充足 - 性・年齢階級別	118
(2)	睡眠時間の充足 - 就業状況別	119
(3)	睡眠時間の充足 - 飲酒の有無、1日の平均飲酒量別	120
(4)	睡眠時間の充足 - 悩みやストレスの状況別	121
(5)	こころのゆとり - 性・年齢階級別	122
(6)	こころのゆとり - 就業状況別	123
(7)	こころのゆとり - 悩みやストレスの状況別	124
(8)	余暇の充実度 - 性・年齢階級別	125
(9)	余暇の充実度 - 就業状況別	126
(10)	余暇の充実度 - 悩みやストレスの状況別	127
第4章	健診・保健指導の状況	129
1	過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無	129
(1)	過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無 - 性・年齢階級別	130
(2)	過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無 - 就業状況別	131
(3)	過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無 - 医療保険の種類別	132
2	健診の種類、方法、時期	133
(1)	健診の種類 - 就業状況別	134
3	健診結果の指摘の有無とその内容[複数回答]	136
(1)	健診結果の指摘の有無とその内容[複数回答] - 性・年齢階級別	138
(2)	健診結果の指摘の有無とその内容[複数回答] - 健康状態別	139
(3)	健診結果の指摘の有無とその内容[複数回答] - 飲酒習慣の有無別	140
(4)	健診結果の指摘の有無とその内容[複数回答] - 喫煙の有無別	141
4	特定保健指導の有無とその内容、実行の程度	142
(1)	特定保健指導の有無 - 性・年齢階級別	143
(2)	特定保健指導の内容 - 性・年齢階級別	144
(3)	特定保健指導内容の実行程度 - 性・年齢階級別	145
5	特定保健指導を受けなかった理由[複数回答]	146
6	医療機関受診勧奨の有無と受診の有無	147

(1)	医療機関受診勧奨の有無 - 性・年齢階級別	148
(2)	医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無 - 性・年齢階級別	149
7	健診を受けなかった理由[複数回答]	150
(1)	健診を受けなかった理由[複数回答] - 性・年齢階級別	151
第5章	がん検診の受診状況	153
1	胃がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]	153
(1)	胃がん検診の受診の有無[複数回答] - 性・年齢階級別	154
(2)	胃がん検診の受診の有無[複数回答] - 就業状況別	155
(3)	胃がん検診の検査方法[複数回答] - 性・年齢階級別	156
2	大腸がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]	157
(1)	大腸がん検診の受診の有無[複数回答] - 性・年齢階級別	158
(2)	大腸がん検診の受診の有無[複数回答] - 就業状況別	159
(3)	大腸がん検診の検査方法[複数回答] - 性・年齢階級別	160
3	肺がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]	161
(1)	肺がん検診の受診の有無[複数回答] - 性・年齢階級別	162
(2)	肺がん検診の受診の有無[複数回答] - 就業状況別	163
(3)	肺がん検診の検査方法[複数回答] - 性・年齢階級別	164
4	乳がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]	165
(1)	乳がん検診の受診の有無[複数回答] - 年齢階級別	166
(2)	乳がん検診の受診の有無[複数回答] - 就業状況別	167
(3)	乳がん検診の受診の有無[複数回答] - 認知度[ピンクリボン運動]別	168
(4)	乳がん検診の検査方法[複数回答] - 年齢階級別	169
5	子宮がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]	170
(1)	子宮がん検診の受診の有無[複数回答] - 年齢階級別	171
(2)	子宮がん検診の受診の有無[複数回答] - 就業状況別	172
(3)	子宮がん検診の検査方法[複数回答] - 年齢階級別	173
6	がん検診の受診機会	174
(1)	胃がん検診の受診機会 - 性・年齢階級別	175
(2)	胃がん検診の受診機会 - 就業状況別	176
(3)	大腸がん検診の受診機会 - 性・年齢階級別	177
(4)	大腸がん検診の受診機会 - 就業状況別	178
(5)	肺がん検診の受診機会 - 性・年齢階級別	179
(6)	肺がん検診の受診機会 - 就業状況別	180
(7)	乳がん検診の受診機会 - 年齢階級別	181
(8)	乳がん検診の受診機会 - 就業状況別	182
(9)	子宮がん検診の受診機会 - 年齢階級別	183
(10)	子宮がん検診の受診機会 - 就業状況別	184
7	がん検診の受診理由[複数回答]	185
(1)	がん検診の受診理由[複数回答] - 性・年齢階級別	186



8	がん検診を受けなかった理由[複数回答]	187
(1)	胃がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 性・年齢階級別	188
(2)	大腸がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 性・年齢階級別	189
(3)	肺がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 性・年齢階級別	190
(4)	乳がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 年齢階級別	191
(5)	子宮がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 年齢階級別	192
第6章	肝炎ウイルス検診の状況	193
1	肝炎ウイルス検診の受診の有無と受診機会[複数回答]	193
(1)	肝炎ウイルス検診の受診の有無 - 性・年齢階級別	194
(2)	肝炎ウイルス検診の受診の有無 - 健康・食生活改善意欲別	195
(3)	肝炎ウイルス検診の受診機会[複数回答] - 性・年齢階級別	196
(4)	肝炎ウイルス検診の受診機会[複数回答] - 就業状況別	197
2	肝炎ウイルス検診の受診理由[複数回答]	198
(1)	肝炎ウイルス検診の受診理由[複数回答] - 性・年齢階級別	199
3	肝炎ウイルス検診を受診しなかった理由[複数回答]	200
(1)	肝炎ウイルス検診を受診しなかった理由[複数回答] - 性・年齢階級別	201
第7章	糖尿病	203
1	糖尿病り患状況	203
(1)	糖尿病り患状況 - 性・年齢階級別	204
2	糖尿病の治療の有無と治療内容[複数回答]	205
(1)	糖尿病の治療の有無 - 糖尿病り患状況別	206
(2)	糖尿病の治療内容[複数回答] - 糖尿病り患状況別	207
3	糖尿病が原因で起こる疾病の認知度[複数回答]	208
(1)	糖尿病が原因で起こる疾病の認知度[複数回答] - 性・年齢階級別	209
(2)	糖尿病が原因で起こる疾病の認知度[複数回答] - 糖尿病り患状況別	210
第8章	結核	211
1	胸のレントゲン検査の受診の有無と受診しなかった理由[複数回答]	211
(1)	胸のレントゲン検査の受診の有無 - 性・年齢階級別	212
(2)	胸のレントゲン検査の受診の有無 - 就業状況別	213
(3)	胸のレントゲン検査を受診しなかった理由[複数回答] - 性・年齢階級別	214
2	結核に関する知識の認知度[複数回答]	215
(1)	結核に関する知識の認知度[複数回答] - 性・年齢階級別	216
(2)	結核に関する知識の認知度[複数回答] - 胸のレントゲン検査の受診の有無別	217
第9章	医療機関の受診状況	219
1	過去1年間の医療機関の受診の有無と受診した傷病名[複数回答]	219

(1) 過去1年間の医療機関の受診の有無 - 性・年齢階級別	220
(2) 受診した傷病名[複数回答] - 性・年齢階級別	222
2 最も気になる傷病	224
(1) 最も気になる傷病 - 性・年齢階級別	224
3 最も気になる傷病について受診した医療機関の所在地	226
(1) 最も気になる傷病について受診した医療機関の所在地[病院] - 地域別	226
(2) 最も気になる傷病について受診した医療機関の所在地[診療所] - 地域別	227
4 医療情報の入手方法[3つまでの複数回答]	228
(1) 医療情報の入手方法[3つまでの複数回答] - 性・年齢階級別	229
(2) 医療情報の入手方法[3つまでの複数回答] - かかりつけ医の有無別	230
5 医療機関を選ぶために欲しい医療情報[3つまでの複数回答]	231
(1) 医療機関を選ぶために欲しい情報[3つまでの複数回答] - 性・年齢階級別	232
第10章 がん医療・在宅療養・リハビリテーション医療	233
1 がん医療対策に望むこと[複数回答]	233
(1) がん医療対策に望むこと[複数回答] - 性・年齢階級別	234
2 在宅療養の理想とその実現可能性	235
(1) 在宅療養の理想 - 性・年齢階級別	236
(2) 在宅療養の実現可能性 - 性・年齢階級別	237
3 在宅療養の実現が難しいと思う理由[3つまでの複数回答]	238
(1) 在宅療養の実現が難しいと思う理由[3つまでの複数回答] - 性・年齢階級別	239
4 リハビリテーションの利用[複数回答]	240
(1) リハビリテーションの利用[複数回答] - 性・年齢階級別	241
(2) 回復期リハビリテーションを利用した医療機関の所在地 - 地域別	242
第11章 保健医療関連施策の認知度	243
1 保健医療関連施策の認知度	243
(1) 保険適用による禁煙治療の認知度 - 性・年齢階級別	244
(2) 保険適用による禁煙治療の認知度 - 喫煙の有無別	245
(3) 保険適用による禁煙治療の認知度 - 禁煙意欲別	245
(4) 8020運動(歯科)の認知度 - 性・年齢階級別	246
(5) 8020運動(歯科)の認知度 - かかりつけ歯科医の有無別	247
(6) 特定健診・特定保健指導の認知度 - 性・年齢階級別	248
(7) 特定健診・特定保健指導の認知度 - 過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無別	249
(8) ピンクリボン運動の認知度 - 性・年齢階級別	250
(9) 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度 - 性・年齢階級別	251
(10) 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度 - 世帯類型(18歳未満の子供がいる世帯)別	252

(11)	「暮らしの中の医療情報ナビ」の認知度 - 性・年齢階級別	253
(12)	緩和ケアの認知度 - 性・年齢階級別	254
(13)	がん登録の認知度 - 性・年齢階級別	255
(14)	救急医療の東京ルール認知度 - 性・年齢階級別	256
(15)	救急相談センター（#7119）の認知度 - 性・年齢階級別	257
(16)	救急相談センター（#7119）の認知度 - 世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別	258
(17)	救急搬送トリアージの認知度 - 性・年齢階級別	259
(18)	救急搬送トリアージの認知度 - 世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別	260
(19)	救急外来トリアージの認知度 - 性・年齢階級別	261
(20)	救急外来トリアージの認知度 - 世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別	262
(21)	母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度 - 性・年齢階級別	263
(22)	母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度 - 世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別	264
行政への要望等（自由意見）		265
第3	付属資料	273
1	調査票と単純集計結果	275
2	主な用語の説明	320
3	主な表記省略一覧	329
4	東京都福祉保健基礎調査の実施状況（過去10年間）	332



# 第 1 調査の概要



## 1 調査の目的

東京都内における各世帯並びに世帯員の健康と医療に関する実態と意識を把握することにより、東京都における保健・医療施策充実のための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査の対象

東京都内に居住する、住民基本台帳から無作為に抽出した 6,000 世帯と調査基準日現在満 20 歳以上の世帯員を客体とする。

## 3 調査の基準日

平成 21 年 10 月 14 日（調査期間 平成 21 年 10 月 14 日から同年 11 月 13 日まで）

## 4 調査事項

調査は、調査票（世帯票）、調査票（健康と医療に関する実態と意識票）により主に次の事項を調査した。

- (1) 基本的属性
- (2) 就業の状況
- (3) 医療機関の受診状況

- (4) 住居の種類
- (5) 世帯の年収額

- (6) 食生活・運動などの生活習慣の状況
- (7) 健診・がん検診・肝炎ウイルス検診などの受診状況

- (8) 医療情報について
- (9) がん医療・在宅医療・リハビリテーション医療について
- (10) 都の保健医療関連施策の認知度

## 5 調査方法

- (1) 調査票（世帯票）は、調査員が調査対象世帯を訪問し、面接聞き取りの上、作成する（面接他計式）。
- (2) 調査票（健康と医療に関する実態と意識票）は、満 20 歳以上の世帯員を対象とし、留置自計式による。

## 6 調査の機構

- (1) 福祉保健局長  
管下の職員を指揮監督し、調査の企画、実施及び結果の公表を行う。
- (2) 調査員  
福祉保健局統計調査員設置要綱に基づき、知事が任命する。

## 7 根拠規程

- (1) 東京都統計調査条例（昭和 32 年東京都条例第 15 号）
- (2) 東京都統計調査条例施行規則（平成 2 年東京都規則第 213 号）
- (3) 東京都統計調査条例に基づく都指定統計調査の指定等に関する規則（平成 3 年東京都規則第 25 号）
- (4) 東京都福祉保健基礎調査要綱（平成 20 年 4 月 1 日）

## 8 調査検討会の設置

調査の実施にあたっては、平成 21 年 5 月に学識経験者および都関係各部職員からなる検討会を設置し、調査票の設計、結果の分析等について検討を行った。

### 平成 21 年度 東京都福祉保健基礎調査検討委員

学識経験者	
河原 和 夫	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授
水嶋 春 朔	横浜市立大学医学部社会予防医学教室教授
行政関係者	
東京都福祉保健局総務部総務課長	
東京都福祉保健局医療政策部医療政策課長	
東京都福祉保健局保健政策部保健政策課長	
東京都福祉保健局健康安全部健康安全課長	

## 9 集計の対象

### (1) 調査票 (世帯票)

調査の客体	集計対象 (回収率)	調査不能	調査不能			
			転出	不在	拒否	その他
6,000 世帯	3,952 世帯 (9,353 人) (65.9%)	2,048 世帯	71 世帯	1,004 世帯	825 世帯	148 世帯

### (2) 調査票 (健康と医療に関する実態と意識票)

調査の客体	集計対象 (回収率)	調査不能
1	2)	
7,837 人	7,259 人 (92.6%)	578 人

- 1 客体は、(1)で回答が得られた 3,952 世帯の満 20 歳以上の世帯員の総数
- 2 回収率：7,259 人 ÷ 7,837 人 = 92.6%

## 10 調査報告書の構成

項目	集計対象数
第 1 部 世帯と世帯員の状況	
第 1 章 調査対象者の性・年齢階級及び地域	9,353 人
第 2 章 世帯の状況	3,952 世帯
第 3 章 世帯員の状況	9,353 人
第 4 章 世帯における医療機関の受診状況	3,952 世帯
第 2 部 健康と医療に関する実態と意識	対象世帯 3,952 世帯中、満 20 歳以上の世帯員 7,837 人を対象に行った調査票 (健康と医療に関する実態と意識) の調査で回答のあった 7,259 人

上記のほか、自由意見として記入してもらった保健医療行政に関する要望、意見等を掲載した。



## 11 利用上の注意

- (1) 比率の単位は「%」、実数の単位は「世帯」又は「人」である。
- (2) 統計表の百分率については、少数点以下第2位を四捨五入してあるため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
- (3) 統計表中、用いた記号は次のとおりとする。
  - 「0.0」...四捨五入により数値を丸めた結果、表示すべき最下位の位の1に達しない場合の単位未満の数値
  - 「 」 ...皆無又は該当数字なし
  - 「...」 ...未調査、未集計のために数値が得られない、該当数値が不詳又は不明なもの
- (4) クロス集計表の表側で「その他」、「無回答」等の母数の少ないデータは一部省略したものもある。
- (5) 本文の表中の数値に付けた下線は記述に関連することを示す。
- (6) 「【参考】18年度調査」とは、「平成18年度 東京都福祉保健基礎調査（都民の生活実態と意識）」をいう。
- (7) 「調査結果の概要」中、調査票の回答肢を引用する際、紙面の関係上表記を省略したものについては、付属資料の主な表記省略一覧表のように省略した。

## 12 結果の公表

公表している資料は下表のとおり。本報告書は、確定報告の記述編である。

	速 報	確 定 報 告		
区 分	概要版	概要版	記述編	統計編
内 容	単純集計	記述編の概要	分析、グラフ、クロス表	クロス表
時 期	平成22年3月	平成22年10月		
方 法	プレス発表、 ホームページ掲載	報告書の刊行、ホームページ掲載		

### ホームページ掲載場所

東京都ホームページ    各局のページ    福祉保健局    調査・統計    東京都福祉保健基礎調査

[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kiban/chosa\\_tokei/zenbun/index.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kiban/chosa_tokei/zenbun/index.html)



## 第 2 調査結果の概要



## 序

本調査は、住民基本台帳から調査客体として6,000世帯を無作為に抽出し、(抽出率1/1035)そのうち、調査不能世帯2,048世帯を除く3,952世帯とその世帯員9,353人を集計対象として分析を行っている。(回収率65.9%)

また、併せて3,952世帯に属する満20歳以上の世帯員を対象とし、健康・医療に関する意識等を調査し、7,259人から回答を得て、その分析を行った。

ここでは、結果を述べる前に、東京都の世帯と人口や健康・医療の推移について述べる。

### 1 東京都の世帯と人口

「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」(東京都総務局)によると、平成21年1月1日現在、東京都の世帯総数は6,210,852世帯、人口総数は12,517,299人、平均世帯人員は2.02人である。

地域別にみると、区部の世帯数は4,376,801世帯、市町村部は1,834,051世帯で、世帯総数に占める割合は、それぞれ70.5%、29.5%である。

また、人口は、区部が8,451,067人、市町村部が4,066,232人で、人口総数に占める割合は、それぞれ67.5%、32.5%となっている。

平均世帯人員は、区部が1.93人、市町村部が2.22人である。(表1)

表1 東京都の世帯と人口

	世帯数	構成割合	人口	構成割合	平均世帯人員
総数	6,210,852	100.0	12,517,299	100.0	2.02
区部	4,376,801	70.5	8,451,067	67.5	1.93
市町村部	1,834,051	29.5	4,066,232	32.5	2.22

資料：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口(平成21年1月)」(東京都総務局)

## 2 世帯と人口の推移

平成 21 年の世帯総数は 6,210,852 世帯で、この 5 年間で 7.8%、約 45 万世帯増加している。地域別にみると、区部の世帯数は、この 5 年間で 8.1%、約 33 万世帯増加しており、市町村部の世帯数は、この 5 年間で 7.0%、約 12 万世帯増加している。(表 2)

また、平成 21 年の人口総数は、12,517,299 人で、この 5 年間で 3.7%、約 44 万人増加している。地域別にみると、区部の人口は、この 5 年間で 4.0%、約 32 万人増加しており、市町村部の人口は、この 5 年間で 3.1%、約 12 万人増加している。(表 3)

表 2 世帯数の推移

(各年 1 月 1 日現在)

	総 数			区 部			市町村部		
	世帯数	増減数	指数	世帯数	増減数	指数	世帯数	増減数	指数
平成12年	5,401,662	77,058	93.8	3,797,774	52,430	93.8	1,603,888	24,628	93.6
13年	5,489,639	87,977	95.3	3,859,532	61,758	95.4	1,630,107	26,219	95.1
14年	5,585,847	96,208	97.0	3,927,099	67,567	97.0	1,658,748	28,641	96.8
15年	5,679,978	94,131	98.6	3,993,731	66,632	98.7	1,686,247	27,499	98.4
16年	5,760,580	80,602	100.0	4,047,216	53,485	100.0	1,713,364	27,117	100.0
17年	5,842,829	82,249	101.4	4,103,468	56,252	101.4	1,739,361	25,997	101.5
18年	5,932,890	90,061	103.0	4,169,614	66,146	103.0	1,763,276	23,915	102.9
19年	6,029,100	96,210	104.7	4,242,089	72,475	104.8	1,787,011	23,735	104.3
20年	6,125,824	96,724	106.3	4,313,651	71,562	106.6	1,812,173	25,162	105.8
21年	6,210,852	85,028	107.8	4,376,801	63,150	108.1	1,834,051	21,878	107.0

表 3 人口の推移

(各年 1 月 1 日現在)

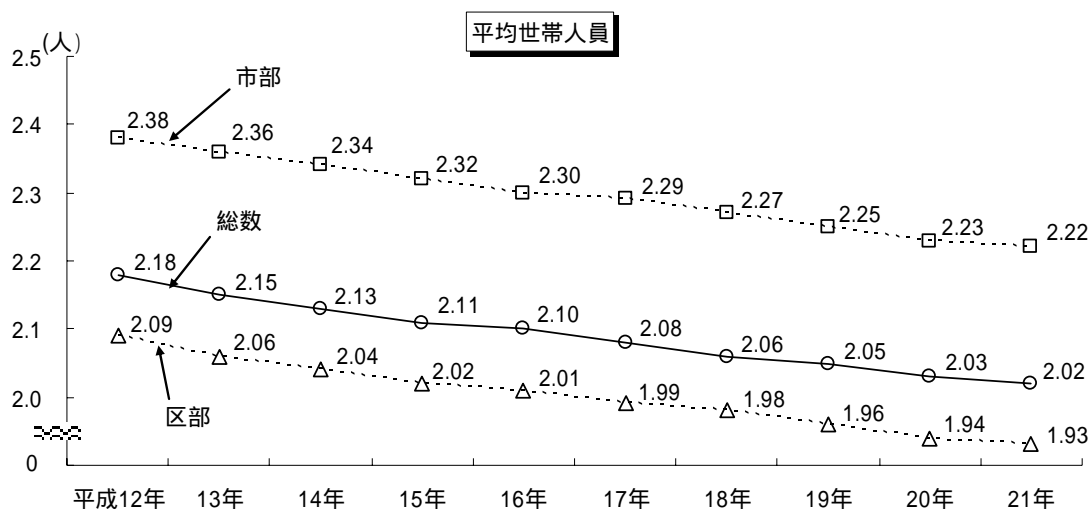
	総 数			区 部			市町村部		
	人口	増減数	指数	人口	増減数	指数	人口	増減数	指数
平成12年	11,750,351	55,417	97.3	7,921,476	29,209	97.4	3,828,875	26,208	97.1
13年	11,823,029	72,678	97.9	7,967,602	46,126	98.0	3,855,427	26,552	97.7
14年	11,907,350	84,321	98.6	8,023,202	55,600	98.7	3,884,148	28,721	98.5
15年	11,996,211	88,861	99.4	8,081,959	58,757	99.4	3,914,252	30,104	99.2
16年	12,074,598	78,387	100.0	8,129,801	47,842	100.0	3,944,797	30,545	100.0
17年	12,161,029	86,431	100.7	8,183,907	54,106	100.7	3,977,122	32,325	100.8
18年	12,247,024	85,995	101.4	8,247,810	63,903	101.5	3,999,214	22,092	101.4
19年	12,339,259	92,235	102.2	8,318,841	71,031	102.3	4,020,418	21,204	101.9
20年	12,433,235	93,976	103.0	8,387,659	68,818	103.2	4,045,576	25,158	102.6
21年	12,517,299	84,064	103.7	8,451,067	63,408	104.0	4,066,232	20,656	103.1

資料：表 2,3 とともに「住民基本台帳による東京都の世帯と人口（平成 21 年 1 月）」（東京都総務局）

### 3 平均世帯人員の推移

平均世帯人員は、年々減少を続けており、平成 21 年は 2.02 人である。(区部 1.93 人、市町村部 2.22 人)(図 1)

図 1 平均世帯人員の推移



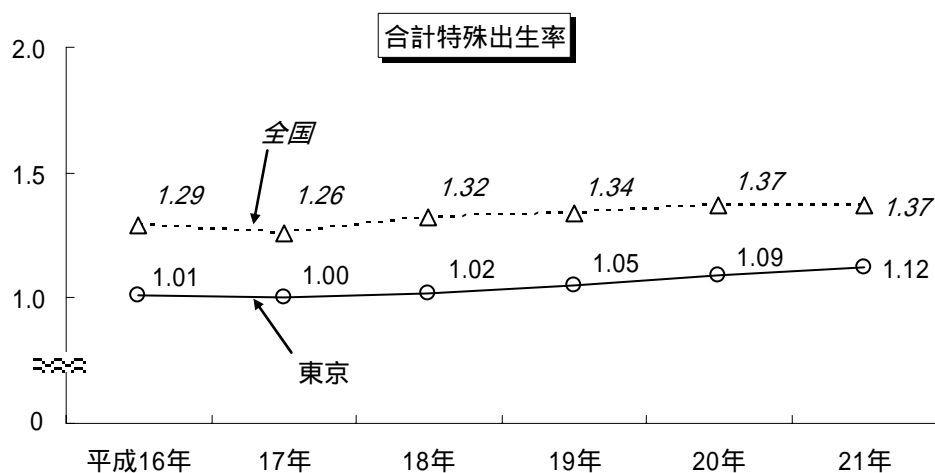
資料：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口（平成 21 年 1 月）」（東京都総務局）

### 4 出生・婚姻・死亡の推移（東京都、全国）

#### (1) 出生の推移

東京都、全国における出生の推移を合計特殊出生率（ ）で見ると、東京都、全国ともに 3 年連続で上昇している。平成 21 年の合計特殊出生率は、東京都 1.12、全国 1.37 となっている。(図 2)

図 2 合計特殊出生率の推移



資料：「人口動態統計」厚生労働省

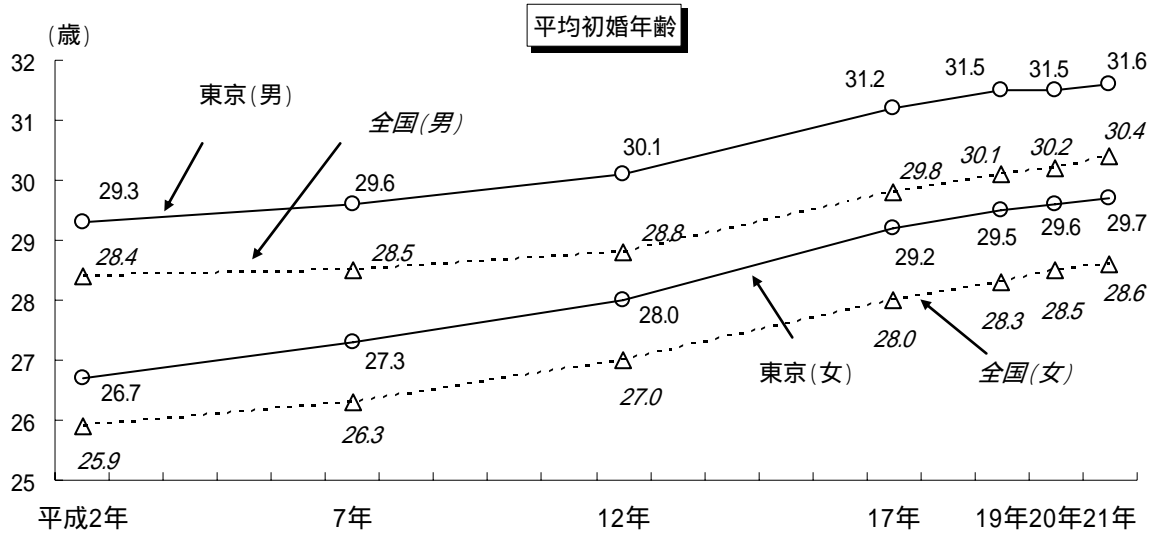
合計特殊出生率とは、15 歳から 49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとした子ども数を表す。

(2) 婚姻の推移(男、女)

東京都、全国における婚姻の推移を平均初婚年齢で見ると、東京都、全国、男女ともに平均初婚年齢は上昇傾向である。特に東京の女性は、平成2年の26.7歳から平成21年は29.7歳と3歳上昇している。(図3)

また、未婚率で見ると、東京都、全国、男女ともにその割合は上昇しており、東京都は全国よりも常に上回っている。(図4、図5)

図3 平均初婚年齢



資料:「人口動態統計」厚生労働省

図4 未婚率(25~29歳)

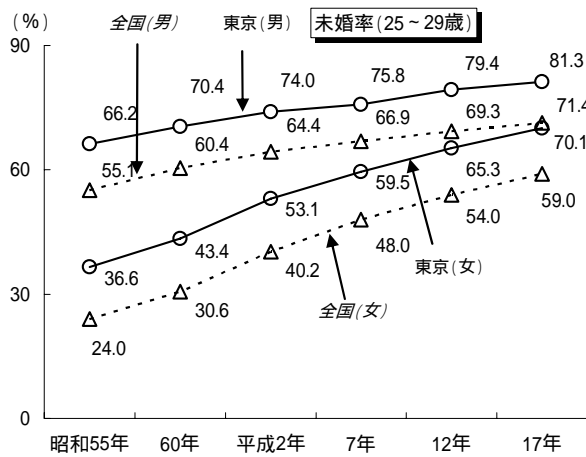
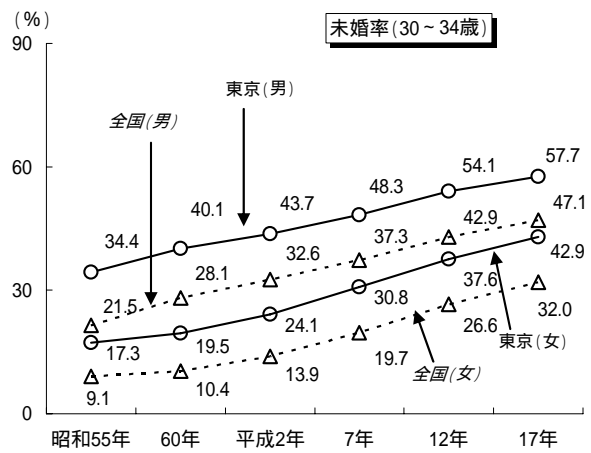


図5 未婚率(30~34歳)



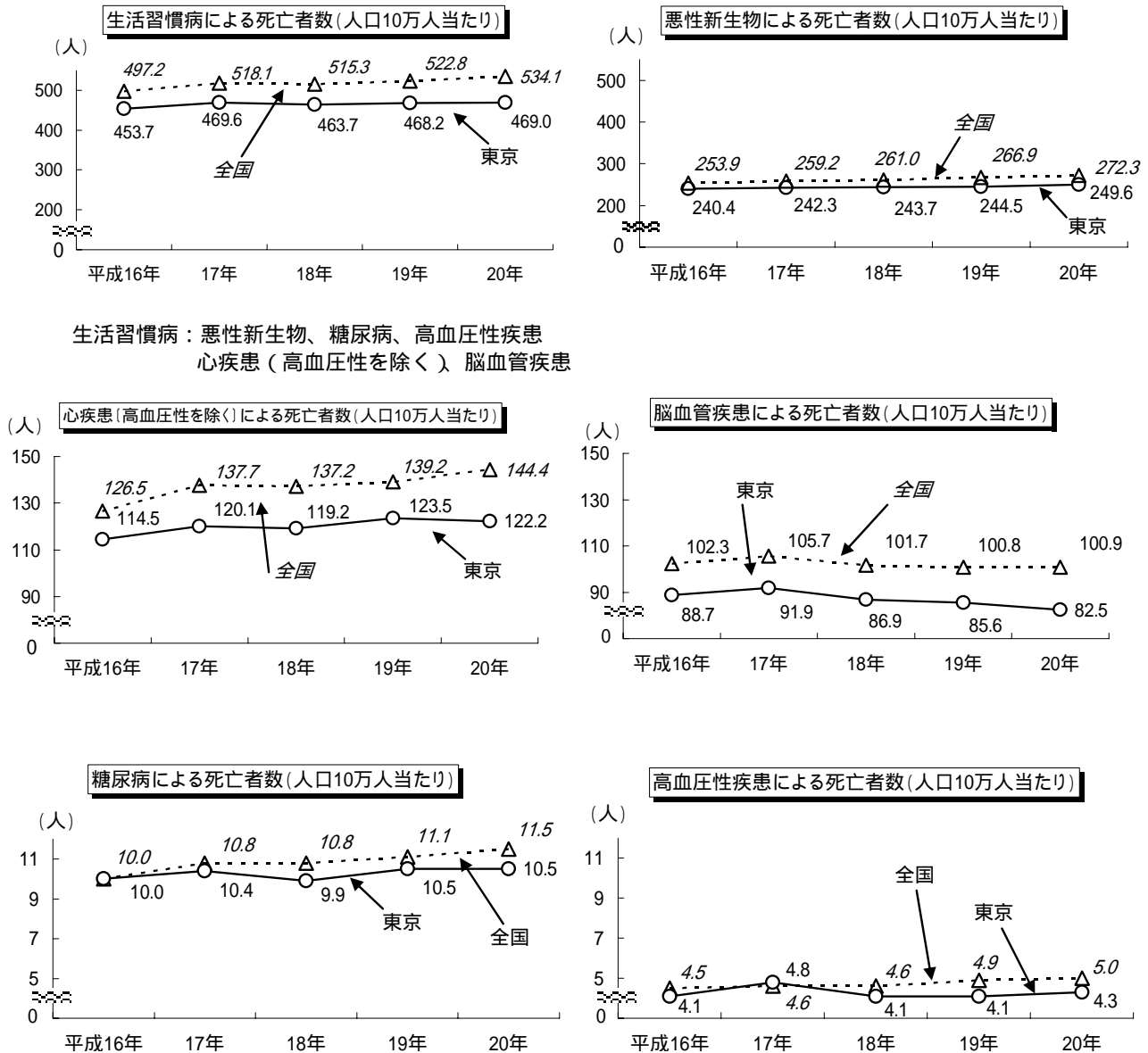
資料:「国勢調査」総務省



(3) 死亡者数(人口10万人当たり)の推移

東京都、全国における死亡者数(人口10万人当たり)の推移を主な死因別で見ると、最も多いのは「悪性新生物による死亡者数」で、全国と同様東京都においても平成16年から年々死亡者数が増えている。(図6)

図6 主な死因別にみた死亡者数(人口10万人当たり)



資料：「人口動態統計」厚生労働省

## 5 医療の状況

### (1) 受療状況

東京都、全国における有訴者率( )・通院者率(人口千人当たり)の推移をみると、有訴者率・通院者率ともに平成7年と比べて人口千人当たりに対して40人以上増加している。通院者率は全国よりも東京が常に上回って推移している。(図7、図8)

図7 有訴者率(人口千人当たり)

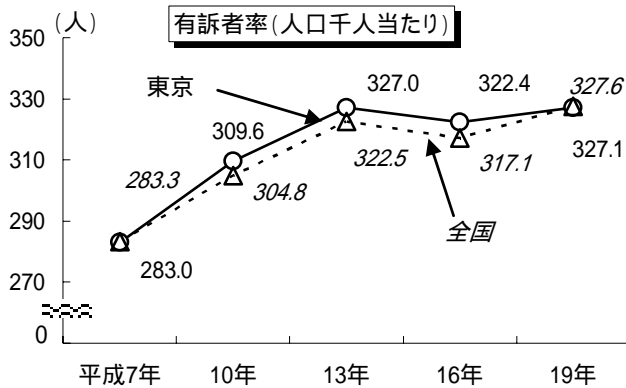
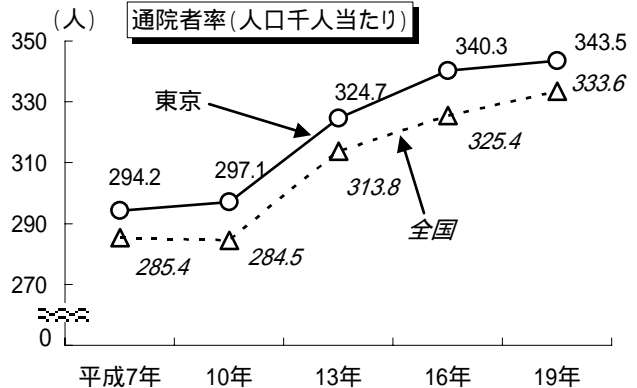


図8 通院者率(人口千人当たり)



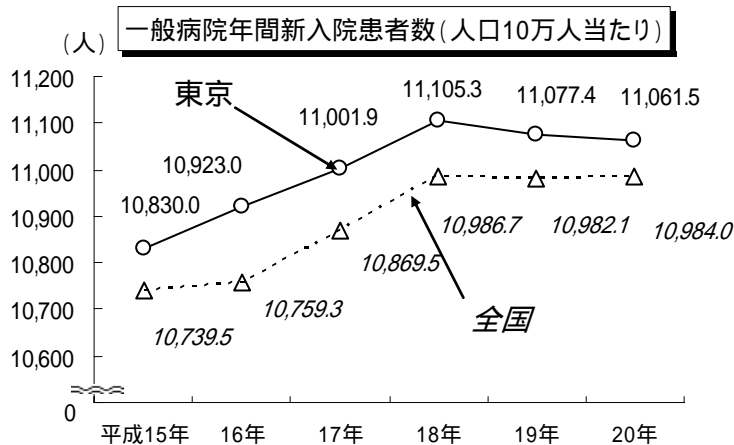
資料：「国民生活基礎調査」厚生労働省

有訴者率とは、病気やけがなどで自覚症状のある者(医療施設・介護保険施設への入院・入所者を除く)の人口千人に対する割合。

### (2) 入院の状況

東京都、全国における一般病院年間新入院患者数(人口10万人当たり)は、平成19年で東京が11,077人、全国が10,982人となっており、全国よりも東京が常に上回って推移している。(図9)

図9 一般病院年間新入院患者数(人口10万人当たり)



資料：「病院報告」厚生労働省

(3) 医療施設の状況

東京都、全国における一般病院数（人口10万人当たり）は、平成20年で東京が4.6施設、全国で6.0施設となっており、一般診療所（人口10万人当たり）は、平成20年で東京が97.9施設、全国で77.6施設となっている。（図10、図11）

また、歯科診療所（人口10万人当たり）は、平成20年で東京が82.0施設、全国で53.1施設であった。（図12）

図10 一般病院数（人口10万人当たり）

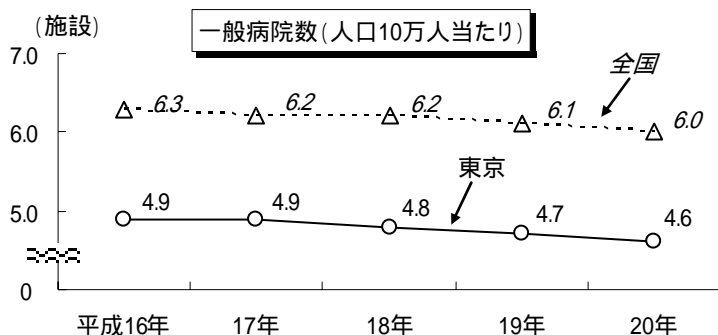


図11 一般診療所数（人口10万人当たり）

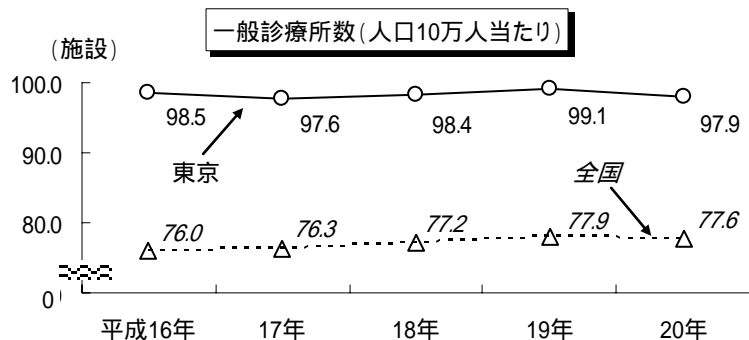
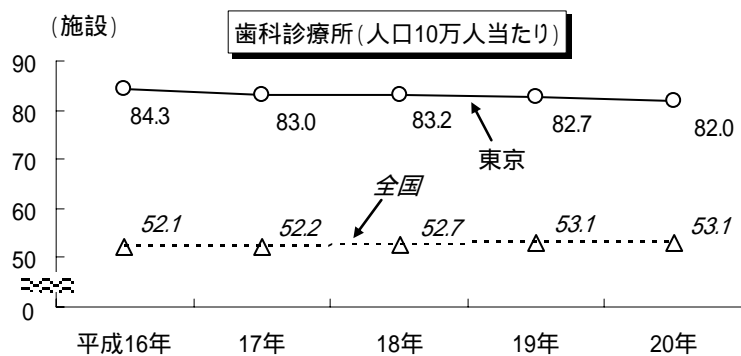


図12 歯科診療所（人口10万人当たり）



資料：「医療施設調査」厚生労働省

(4) 救急活動

東京都、全国における救急活動を救急自動車数(人口10万人当たり)と年間救急出場件数(人口千人当たり)で見ると、平成20年の救急自動車数(人口10万人当たり)は東京都が2.5台、全国4.6台と全国よりも東京都の方が少ないが(図13)年間救急出場件数(人口千人当たり)は、東京都が54.9件、全国41.4件と全国よりも東京都の方が多くなっている。(図14)

図13 救急自動車数(人口10万人当たり)

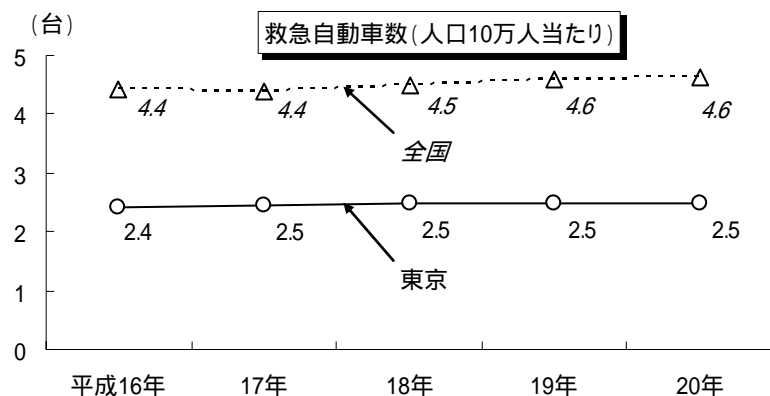
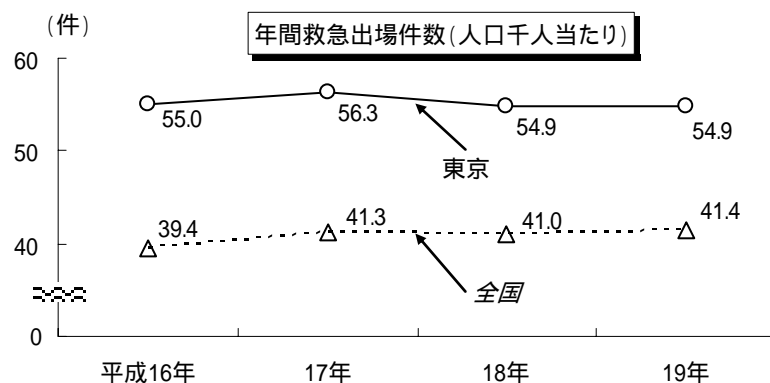


図14 年間救急出場件数(人口千人当たり)



資料:「救急・救助の現況」消防庁